

テーマ

地場産業

# 九谷焼の未来を運ぶカブトムシ。

## 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会

時代の変化に対応できず産業として苦戦を強いられている九谷焼に危機感を持った問屋、窯元、絵付職人の有志が九谷塾として立ち上がり、世界に九谷焼の魅力を発信する。

### 背景と目的

石川県の伝統工芸の九谷焼は、古来より分業での作陶が主である。問屋を介して窯元が素地を作成し、その素地に絵付職人が加飾（絵付）を行い、一つの作品が完成する。この工程の複雑さが九谷焼の魅力といえる。しかしその複雑さゆえに時代の急激な変化に対応できず、現代の生活様式にあった作品を生み出せず産業として苦戦を強いられている。

こうした中で、「何か行動を起こさなくては」という危機感を持った人間が石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合会の中で有志として

集い、2008年に「九谷塾」が誕生した。「九谷塾」は、プロデュース能力を持つ問屋、類まれな造形技術を持つ窯元、そして伝統に培われた彩色技法を有する絵付職人が、同じステージで共通のコンセプトをもとに「今の時代に語りか続けている九谷焼の歴史を後世に承継することができるモノ」を創造している集団である。

### 事業・活動の内容

1年目の2008年に「将来のライフスタイルの研究における九谷焼の新商品開発、販売開拓事業」の応募が石川県伝統産業新商品研究開発事業の採択を受けた。2年目は「九谷焼の図様、造形にこだわったものづくり」「新規性、インパクト、驚き、感動のあるものづくり」「品よく、文化の蓄積が香るものづくり」のコンセプトのもと、

九谷焼のカブトムシ・クワガタを作成した。さらに玩具メーカーのカラトミーの全面協力のもと、所ジョージ氏の協力も得ながら九谷焼のチョロQを製作した。3年目にはカタツムリを発表し、九谷焼業界やデザイン関係者に高い評価を得ている。またNHKはじめ各種マスコミに取り上げられ幅広い年代層の支持を受け、現在も各種催事や展示会からの出展依頼が絶えない。

### 活動の成果

現在の最新技術を最大限に活用し、これまでにない造形物を作ることでも話題性、嗜好性に富んだ九谷焼が各方面から高い評価を得ることができた。今後も「九谷塾」ブランドの斬新な製品を通じて積極的な情報発信を行い、九谷焼の素晴らしさを日本内外に訴求する。九谷焼が発展することで地域

が活性化し、それが九谷焼を育てくれた石川県に元氣と活力をもたらせることを目指したい。

九谷焼カブトムシ  
(金欄 赤絵小紋) ▶



◀ 九谷塾の定例会議風景

### 石川県九谷陶磁器商工業協同組合連合

住所：〒923-1121  
石川県能美市寺井町よ25番地  
設立：昭和36年6月  
出資金：2,500千円  
電話：0761-57-0125  
URL：<http://www.kutani.or.jp/rengoukai>  
業種：窯業・土石製品製造業  
会員：6  
組合専従者：2人